

それ、わたしにまかせて

青山小学校

一ねん

おがた

なごみ

ブルブルし、おにいちゃんのでんわにおかあさんがらでんわがきました。

「ごはん三ごうたいしてほしいんだけど、おにいちゃんいる？」

とおかあさんがいいました。わたしはわたしかしたいとおもいました。わたしはいままですいはんきのスイッチたっておせるし、かッブではかっただこともあるし、せったいたくの

おできるとおもっていました。それにおかあさんがといでいるのをみて、でもたのしいうだな、いつかじぶんでもやってみたいとおもっていました。きょうはじぶんひとりでたけるキヤソスだとおもいました。だからわたしにがらせてほしいとたのみました。さいしよはたがめたといっただけわわたしはいじしようけんめいおかあさんにおねがいしました。ふよいよーとりでたんキヤソスがきました。あたしはヒキドモワクワクワしました。

こめびつから三カツプはかりました。つぎに、こめときぎです。おかあさんがといてるのをおもいだしながらそーわとみずをだししました。ゴシゴシゴシゴシちからをこめてこめをとぎました。みずをすてようとしたときに、おこめがいつしよにながれてしまいわたしはなきそうになりました。でも、わたしはわりきろうとおもいました。みずをはか、てスイツチをおしました。ちやんとたけるかしんばいでした。そのあとおかあさんがかえ、てき、

ておかずをつくりました。

ただ、たいまゝおとうさんもかえ、てきました。いよいよよみんなでゆうはんです。ピーッ、ピーッ、ごはんがたけたおとです。おかあさんがごはんをついでいるのをドキドキしながらみていました。テーブルにごはんをならべて、「いただきます。」しよくいスタートルです。おとうさんがごはんをたぐて、「ゴッ、ゴッ、ゴッ、わたしもおかあさんとめをあおせて、にっこりしました。」